

## 第22期第11回 佐賀県有明海区漁業調整委員会 議事概要

- 1 日 時 令和4年5月23日(月) 15時30分から
- 2 場 所 佐賀県水産会館「大会議室」
- 3 出席者 佐賀県有明海区漁業調整委員
- |     |       |
|-----|-------|
| 会 長 | 西久保 敏 |
| 委 員 | 古賀 善治 |
| ”   | 井口 繁臣 |
| ”   | 中島 龍  |
| ”   | 川下 始  |
| ”   | 竹下 泰彦 |
| ”   | 古賀 秀昭 |
- 4 臨席者 佐賀県有明海漁業協同組合
- |                 |        |
|-----------------|--------|
| 部 長             | 原口 悟路  |
| 佐賀県有明水産振興センター   | 資源研究担当 |
| 係 長             | 佃 政則   |
| 佐賀県水産課          |        |
| 漁業調整担当係長        | 寺田 雅彦  |
| 佐賀県海区漁業調整委員会事務局 |        |
| 事務局 長           | 江口 泰蔵  |
| 主 事             | 本間 智希  |
- 5 議題及び議決事項
- (1) アゲマキの採捕禁止に係る委員会指示(案)について(協議)  
⇒ 原案どおり承認された。
- (2) ウミタケの採捕禁止に係る委員会指示(案)について(協議)  
⇒ 原案どおり承認された。
- (3) クラゲの採捕に係る委員会指示(案)について(協議)  
⇒ 原案どおり承認された。

(4) 委員会指示の適用除外について（協議）

- 1 佐賀県有明海漁業協同組合  
⇒ 原案どおり承認された。
- 2 佐賀市環境政策課  
⇒ 原案どおり承認された。
- 3 佐賀市上下水道局  
⇒ 原案どおり承認された。
- 4 佐賀県宇宙科学館  
⇒ 原案どおり承認された。
- 5 日本工営株式会社  
⇒ 原案どおり承認された。

(5) 令和4年度機船船びき網（あみ1そう船びき網）漁業の許可方針（案）について  
（諮問）

⇒ 原案どおり承認された。

(6) 令和5年漁業権一斉切替について（報告）

⇒ 事務局から報告が行われた。

(7) その他

⇒ 事務局から次回の委員会の日程等について説明が行われた。

6 各議題の説明者及び質疑応答の概要

(1) 説明者

議題1 佃係長、本間主事

議題2 佃係長、寺田係長

議題3 本間主事

議題4-1 寺田係長

議題4-2, 3, 4, 5 本間主事

議題5, 6 寺田係長

(2) 質疑応答

【議題（1）について】

（井口委員）非常に資源が少ない状況がもう過去30年ぐらい続いている。センターとして今後どういった方向で増やしていくとっておられるのですか。

⇒ （佃係長）センターでは種苗放流を行っています。今年も稚貝100万個を目標に母貝団地造成に向けて放流を行っていく予定にしています。

**【議題（２）について】**

（古賀秀昭委員）早津江筋の漁場造成は、５、６年経つと思いますが、盛土区とか浚渫区は、当初の形状は維持していますか。

⇒（佃係長）盛土区は、造成当初より若干減っていますが、盛り上がりが残っています。浚渫区は、掘った分は深くなっていますが、底には泥が溜まっていると聞いています。

（井口委員）２０年間ぐらい資源保護に努めてきて増えてきつつあります。禁止期間のうち、来年の５月、６月ぐらいは解除し、ネジ棒、簡易潜水器で調査をしてはどうか、何も取れないと後継者が育たないと思います。

⇒（江口事務局長）まず潜水器漁業とネジ棒で協議し、漁協内でも議論が必要かと思えます。有明センターの調査次第でまた議論していただきたいと思っています。

**【議題（３）について】**

（古賀秀昭委員）委員会指示の期間が１年から３年になった理由について、説明してください。

⇒（寺田係長）近年、資源状況がある程度安定していること、漁期のずれについては、委員会指示を新たに発出するのではなく、福岡県や漁協との協議の中で変更という形で対応していきます。

**【議題（４）－１，２，３，４について】**

質疑なし

**【議題（４）－５について】**

（竹下委員）この調査はまた継続的にされていくと思います。他の調査もですが、個別にずっと調査している。経年的に調べることで色々なことが分かってくる。個々でやっても勿体ないと思います。

**【議題（５）について】**

質疑なし

**【議題（６）について】**

質疑なし